A 試合会場レポート

2018-19 V.LEAGUE DIVISION1 MEN　レギュラーラウンド

試合番号 **122**　開催日 **2018/11/10**

会場： **墨田区総合体育館**

観客数:1600	開始時刻:16:00	終了時刻:18:00	試合時間:2:00	主審:浅井　唯由	副審:原　啓之

パナソニックパンサーズ

監督　：　川村　慎二
コーチ　：　古田　博幸

通算　：　5 勝 0 敗
ﾎﾟｲﾝﾄ　：　15

堺ブレイザーズ

監督　：　真保　綱一郎
コーチ　：　上杉　徹

通算　：　1 勝 3 敗
ﾎﾟｲﾝﾄ　：　3

3	23	第1セット【0:29】	25	1
	25	第2セット【0:18】	19	
	25	第3セット【0:27】	21	
	25	第4セット【0:27】	23	
		第5セット【】		

ﾎﾟｲﾝﾄ 3　【 】内はセット時間　（）内は交代選手　ﾎﾟｲﾝﾄ 0

第1セット

23	大竹(新)	白澤	松本(内藤)	高野	25
	福澤	ｸﾋﾞｱｸ	松岡	佐川	
	山内	深津(渡辺)	千々木(小池)	出未田(宮原)	

リベロ: 永野　リベロ: 山本

第2セット

25	福澤(久原)	大竹(新)	松岡	松本(内藤)	19
	山内	白澤	千々木(宮原)	高野	
	深津(今村)	ｸﾋﾞｱｸ	出未田	佐川(関田)	

リベロ: 永野　リベロ: 山本

第3セット

25	白澤	ｸﾋﾞｱｸ	松本	高野	21
	大竹	深津(渡辺)	松岡(ｼﾞｮﾙｼﾞｪﾌ)	関田(堤)	
	久原	山内	宮原(千々木)	出未田	

リベロ: 永野　リベロ: 山本

第4セット

25	久原	大竹(新)	松本	高野	23
	山内	白澤	ｼﾞｮﾙｼﾞｪﾌ	関田	
	深津(渡辺)	ｸﾋﾞｱｸ	千々木	出未田(宮原)	

リベロ: 永野　リベロ: 山本

第5セット

リベロ:　リベロ:

<監督コメント>

第１セット、良い入りが出来ていたが自分たちのミスと相手の勢いに押され取られてしまった。
第２セット、立て直すことができたが、セット終盤での連続失点が目立った。
第４セットも厳しい戦いになったが、最後まで集中し、勝てたことは大きな勝ちといえる。
明日も目の前の一戦をしっかり全員で戦い抜きたい。本日も沢山のご声援ありがとうございました。

<監督コメント>

今日はこれまで出場の少なかった松岡、宮原が非常に頑張ってくれた。
接戦の試合となったが、落としたセットに関しては、我々自身の問題であるので、そこを課題として捉え、克服していきたい。
あと一歩足りないところが突破できれば更に強いチームへと成長することができると思う。
本日も応援ありがとうございました。

<要約レポート>

今シーズン全勝のパナソニックパンサーズに対し、この試合に勝ち波に乗りたい堺ブレイザーズの試合。
第１セット、序盤からパナソニックの司令塔深津は、クビアク、大竹らを駆使し堺に挑んだ。それに対し、堺の司令塔佐川は、松岡、高野で応戦した。中盤までパナソニックが主導権を握った。しかし終盤に堺は追いつき、シーソーゲームとなるも最後は堺・松本がブロックを決めて先取した。
第２セット、序盤パナソニックはチャレンジ成功、福澤のブロックなどでリードを奪う。その後もリードを奪ったまま終盤を迎え、最後はパナソニック・大竹の鋭いアタックが決まりこのセットを手に入れた。
第３セット、波に乗るパナソニックはスタートダッシュに成功し、リードを奪った。しかし、堺は司令塔関田の巧みなトスワークでパナソニックを翻弄し、追いつくことに成功した。終盤にかけて一進一退の攻防となったが、最後はパナソニック・久原のアタックが決まり、このセットを手に入れた。
第４セット、後のない堺は何としてもリードを奪われないよう、果敢に攻め込んだ。１点を争う白熱した展開となったが、最後に勝利の女神が微笑んだのはパナソニックであった。

作成者 ： 柴田　等

※本票の著作権は一般社団法人ジャパンバレーボールリーグに帰属します。